

## 調査目的

医療機関や各種施設の管理者、看護職員等を対象に、就業実態や就業意向等に関する実態を調査し、今後の看護職員の確保対策を講じる上での基礎資料とする。

## 調査対象及び規模

## 対象

毎年度、対象を変えて順番に調査を実施

(1) 従事者 (2) 離職者 (3) 看護学生 (4) 教育機関・養成施設

## 規模

「平成26年度東京都看護職員就業等実態調査」と同様の規模を想定

【参考】平成26年度東京都看護職員就業等実態調査」時の状況

## (1) 従事者

(看護師等の免許を有し、看護業務に従事している従事者)

設計標本数	有効回収数	有効回収率
7,650	4,377	57.2%

※管理者編の調査票を配付した施設に対し、調査票の配布を依頼  
(管理者編は、病院、診療所、訪看ST等施設を全数or無作為にて抽出)

## (2) 離職者

(東京都ナースプラザ登録者を無作為抽出)

設計標本数	有効回収数	有効回収率
1,200	502	41.8%

## (3) 看護学生

(教育機関・養成施設に在籍している看護学生)

設計標本数	有効回収数	有効回収率
490	273	55.7%

※教育機関・養成施設編の調査票を配付した施設に対し、調査票の配布を依頼

## (4) 教育機関・養成施設

(教育機関・養成施設の管理者を全数抽出)

設計標本数	有効回収数	有効回収率
99	73	73.7%

## 調査項目

「平成26年度東京都看護職員就業等実態調査」と同様の項目を基本とする。

### (1) 従事者

- ア 家族構成
- イ 雇用状態・勤務状況
- ウ 夜間の勤務状況
- エ 看護職員としての通算勤務年数
- オ 退職した経緯
- カ 看護職員として働いた施設数
- キ 前職場の退職理由
- ク 今の職場を選んだ理由
- ケ 今の職場を探す際に利用したもの
- コ 今後の働き方
- サ 3年後、転職している施設
- シ 働きやすい職場

### (4) 看護学生

- ア 入学前の学校・職業等
- イ 看護職を目指した理由
- ウ 修学資金等の貸付金の有無
- エ 借りている修学資金
- オ 卒業後の進路先
- カ 就職を決めた理由
- キ 就職するにあたり、不安に思っていること
- ク 看護職としての今後の働き方
- ケ 東京都ナースプラザの認知

### (2) 離職者

- ア 年齢
- イ 看護職から離職してからの経過年数
- ウ 看護職としての通算勤務年数
- エ 最後の職場を退職した理由
- オ 再就業を考えたきっかけ
- カ 再就業を希望する職場
- キ 再就業先を選ぶ際に重視すること
- ク 希望する雇用形態
- ケ 再就業先を探す際、利用したい(利用している)もの
- コ 再就業支援事業の認知
- サ 研修を受講したことがない理由

### (3) 教育機関・養成施設

- ア 在籍している看護教員
- イ 年齢別看護教員数
- ウ 効果があった看護教員確保のための取組
- エ 勤続年数別退職者数
- オ 退職理由別退職者数
- カ 最も効果があった学生確保のための対策
- キ 退学理由別退学者数
- ク 看護職としての働き方をイメージさせるキャリア教育実施の有無
- ケ 看護職就職者の施設種別
- コ 卒業生の就業動向の把握方策実施の有無
- サ 就業動向の把握の方向
- シ 就業動向を把握する期間
- ス 卒業生の離職防止・定着支援の実施の有無
- セ 東京都ナースプラザの認知
- ソ 東京都ナースプラザの事業の認知
- タ 学生への東京都ナースプラザ事業の情報提供